

品番 DXL-81067

保証とアフターサービス		
DAIKO 照明器具 保証書		
お客様	お名前	販売店名・住所・電話番号
	ご住所	
お買い上げ日	保証期間(お買い上げ日より) 器具本体 3年	
※お客様へのお願い 本書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。 本書は、本書記載内容で無償修理を行うことを約束するものです。		
1. 保証について 取扱説明書、本体表示ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で上記の保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。尚、消耗品は対象外といたします。 お買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合には、お近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。		
2. 保証期間中の無償修理に該当しない事項について 次の様な場合には、保証期間中でも有償修理になります。 (1) 取扱説明書及び本体表示ラベルと異なる施工による不備及び使用上の誤り、又は不当な修理や改造による故障及び損傷 (2) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (3) 一般家庭用以外(例えば業務用等)に使用された場合及び車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (4) この商品について出張修理をご希望の場合には出張に要する実費を申し受けます。 (5) 日本国内外での使用による故障及び損傷 This warranty valid only in Japan (6) 本書及び領収書のご提示のない場合 (7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、字句を書き替えられた場合		
3. ご転居の場合について ご転居の場合の修理ご依頼先はお買い上げの販売店又はお近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。		
4. ご贈答品の場合について ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無償修理をお受けになれない場合には、お近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。		
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は大光電機お客様相談窓口にお問い合わせください。その際は器具の型番、器具の症状、お買い上げ時期をお知らせください。 お客様にご記入いただきました保証書は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。		
商品の取扱いについてのご相談窓口		ナビダイヤル(全国共通) 0570-003-937
受付時間(月曜日～金曜日) 9:00～17:00 土・日・祝祭日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。		

点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

(2)清掃 器具やLEDにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようよく水洗いしてそのまま乾かしてください。 乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木・竹・籐 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。 消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「お客様相談窓口」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

- ご使用の前に安全上の注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工前に安全上の注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は大切に保管してください。

安全上の注意

! 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

! 嚴守	この器具は天井取付専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。	禁止	周囲温度-5～35°C以外では使用しないでください。火災の原因となります。
	突出部のある天井 凸凹のある天井 平面部がφ500mm 未満の天井 傾斜した場所 ケースウェイに 取付いているもの		器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。
! 嚴守	取付強度不足の天井 (ベニヤ板や石膏ボードなど) 補強のない場所 船底天井 サオブチ・格子天井	分解禁止	器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。
			器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。
! 嚴守	器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。	禁止	電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとLED寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災・感電の原因となります。
	器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。		煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「お客様相談窓口」にご相談ください。

! 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

! 嚴守	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
	●照明器具には寿命があります。
! 注意	●設置して8年～10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30°C、1日5.5時間点灯、年間2000時間点灯。 ※点検は、本説明書に従って行ってください。
	●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
! 注意	●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

大光電機株式会社

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F

LC6-81067-A

施工説明 工事店様へ

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

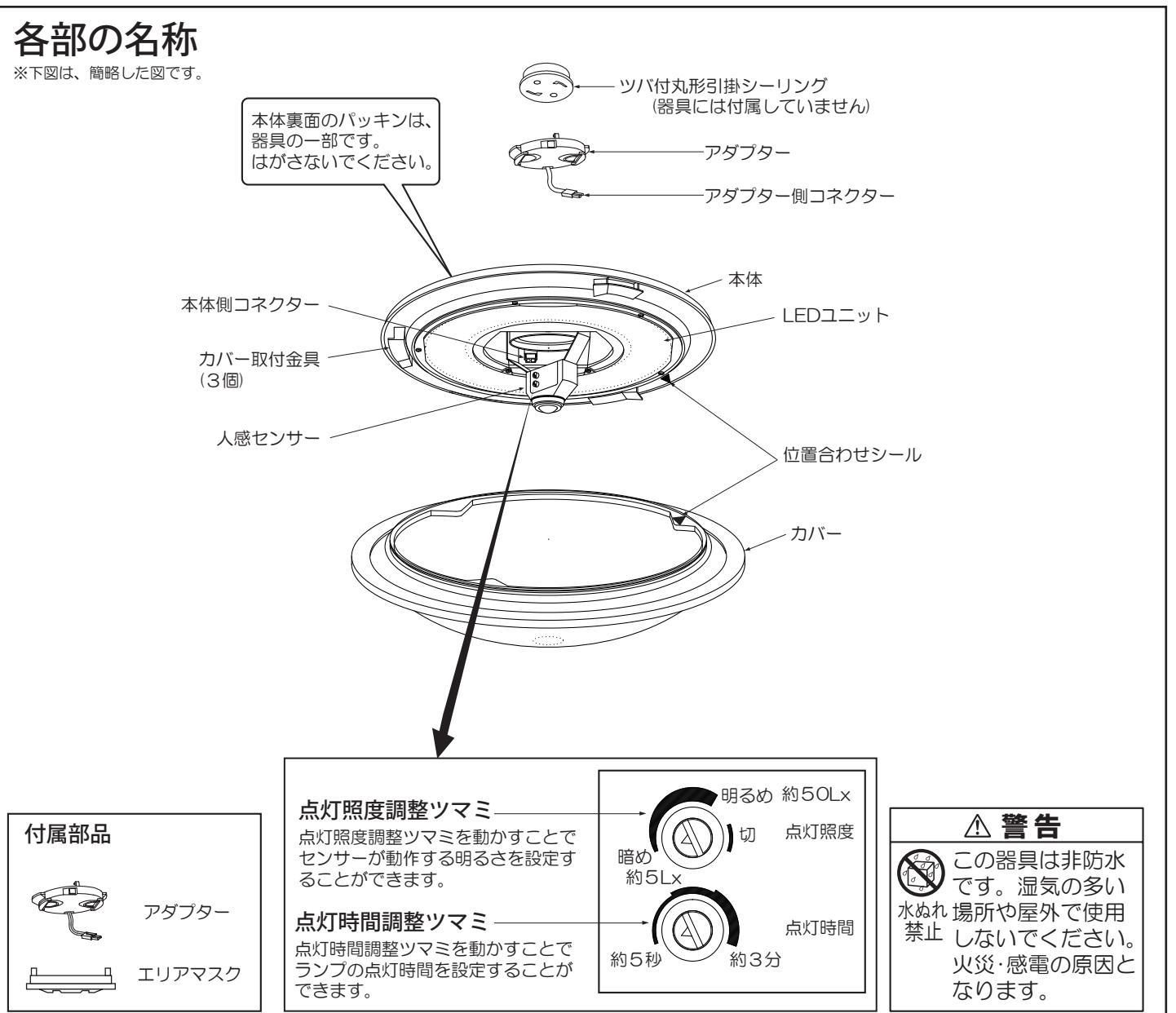
仕様

- 屋内天井取付専用器具です。
- 器具には木とアクリルを使用しております。取扱いは丁寧に行ってください。
- 内玄関用ON/OFFタイプ人感センサーです。
- 調光器との併用はできません。
- LEDユニットは交換できません。
- 天然木を使用しております。色味、木目、節の有無が異なることがあります。

品番	DXL-81067
定格電圧	交流 100V
周波数	50/60Hz兼用
消費電力	17W ※ 待機時 1W以下を要します。
入力電流	0.3A
LEDユニット	演色性 Ra83 昼光色 (6500K) (20灯) LEDモジュール寿命(h):50,000
器具重量	約1.3kg
電源接続	引掛シーリング

各部の名称

※下図は、簡略した図です。



取扱説明 お客様へ

- ご使用の前に安全上の注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用方法

通常は室内スイッチをONにした状態でご使用ください。

室内スイッチが「ON」の時	1. 周囲が暗くなると消灯状態になります。 2. 人を検知すると点灯状態になります。 3. 設定時間(5秒～180秒)点灯した後、消灯状態になります。 4. 周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)
室内スイッチが「OFF」の時	1. 周囲が暗くなても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。

- 強制点灯をさせたい場合は、強制オン機能をご使用ください。(別紙、「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)
- 検知範囲は別紙、「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。
- ※人感センサーのご使用方法については、別紙、「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。

LEDについて

- LEDユニットは交換できません。
- LEDにはバラツキがあるため、商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 設置してから約8～10年、LEDは寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。器具を点検のうえ、交換してください。
- LED器具の近くでほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- LED器具の近くで室内アンテナ使用のテレビやラジオを使用した場合、画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
- LEDを長時間直視するのをおやめください。目に悪影響を及ぼすことがあります。

ご使用上のご注意

- 室内スイッチ・ブレーカーを操作した後、約30秒間は動作が安定しません。(センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。)
- 掃除をする時は、室内スイッチまたはブレーカーを切って、電源が切れたことを確認してから行ってください。
- 検知範囲に犬や猫が入った場合、動作することがあります。(体温を感じて反応するもので、故障ではありません。)
- 季節などの温度変化により、検知範囲が多少変化することがあります。(センサーの検知方式によるもので、故障ではありません。)
- 人体検知レンズが汚れたり、ほこりがたまつたりすると動作しにくくなります。柔らかい乾いた布などで定期的に掃除してください。(シンナー、ベンジン等の薬品は絶対に使用しないでください。)
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因となります。
- 点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。
- 故障と思われた時は、次の点をお調べください。

症状	点検箇所	次の点をお調べください。
自動点滅しない	室内スイッチ	●ONになっていますか?
	電源	●ブレーカーが落ちていませんか?
	人体検知レンズ	●汚れたり、ほこりがたまっていますか?

- センサーの動作がおかしい時は、別紙「人感センサーの取扱説明書」、5, 6ページの「修理を依頼される前に」を一度確認してください。

施工説明

①配線器具を確認する

●使用できないもの



●使用できるもの



⚠ 警告

上記のような配線器具には、器具を取り付けないでください。

火災・感電・落下の原因となります。

配線器具の交換・取付けの際は資格が必要です。

工事店・電器店に依頼してください。

⚠ 警告

配線器具は充分な強度で取付けされていることを必ず確認してください。火災・感電・落下の原因となります。

②アダプターを取付ける(取付ける前に必ず電源を切ってから作業してください。)

●アダプター(ツメ)を配線器具(溝)に合わせ、音がするまで右に回してください。

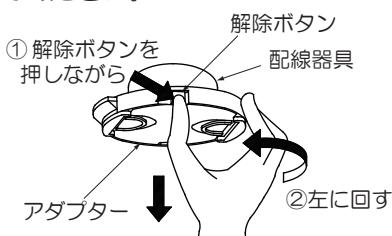


⚠ 警告

取付後、解除ボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認する。
取付けが不十分な場合、落下の原因となります。

<アダプターの取外し>

●アダプターの解除ボタンを押さえながら、左に回してください。



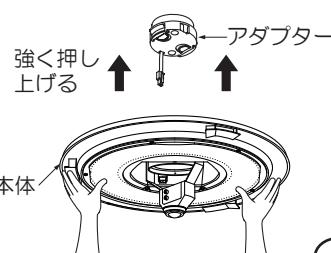
③本体を取付ける(器具本体の表示も必ず確認のうえ、作業してください。)

●下記の配線器具(高さ)の種類により取付けが異なります。下記内容に従い取付けを行なってください。

●本体(センター穴)をアダプターに合わせて、天井に密着するまで確実に押し上げて固定してください。

⚠ 警告

本体が次のような場合は、再度本体を押し上げてください。そのまま使用すると落下的原因となります。
●ガタガタする。
●簡単に回転する。



*アダプターの解除レバーの赤色が見えている場合は、本体センター穴付近を再度押し上げてください。



<本体の取外し>

●本体センター穴付近を片手で支えながら、解除レバーを中央側につまんでください。

⚠ 警告

本体を支えないと外すと、本体が落下する原因となります。



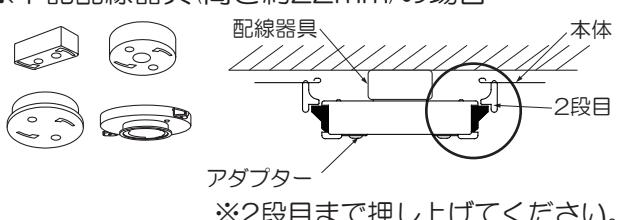
注) 埋込みローゼットに取付ける場合

配線器具が埋込みローゼットの場合は、本体に方向性がありますので注意してください。

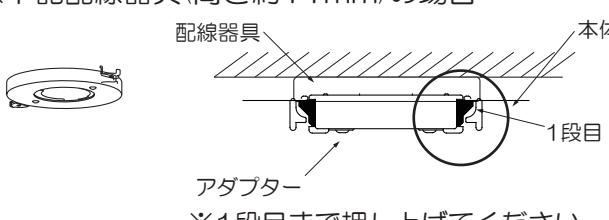
②の方向で取付けた場合、埋込みローゼットの金具に本体が当たり、傾くおそれがあります。必ず①の方向で取付けてください。

カバー取付金具
埋込みローゼット

*下記配線器具(高さ約22mm)の場合



*下記配線器具(高さ約11mm)の場合



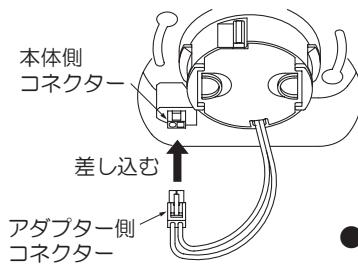
施工説明

④ 電源を接続する

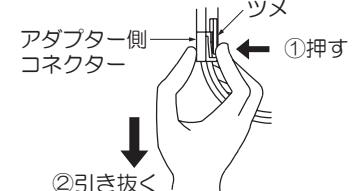
- アダプター側のコネクターを本体側コネクターに最後まで差しこみ、確実に接続してください。(コネクターには方向性がある為、方向を合わせて接続してください。)

⚠ 警告

接続が不完全な場合は、接続不良による火災の原因となります。



<コネクターの取外し>



- アダプター側コネクターのツメを押さえながら引き抜いてください。

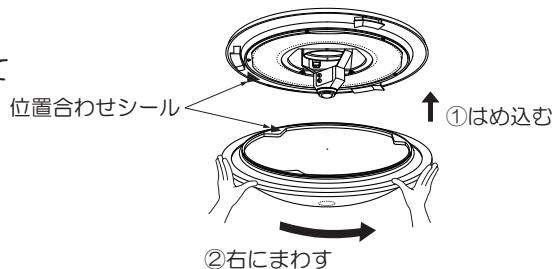
⑤ カバーを取付ける

注)破損下カバーは、使用しないでください。

- 本体とカバーの位置合わせシールを合わせて、はめ込んでください。
- カバーが止まるまで右にまわしてください。カバーが確実に取付いていることを確認してください。

⚠ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。



⑥ 使用前に確認する

- 取付状態・点灯状態を確認してください。

※出荷時のスイッチ設定は点灯照度調整ツマミが「明るめ」、点灯時間調整ツマミが「3分」となっています。

点灯照度調整ツマミ・点灯時間調整ツマミについては本説明書の「各部の名称」並びに別紙、「人感センサーの取扱説明書」をご覧ください。

現象

考えられる原因

処置方法

検知範囲に人がいないのに点灯する

暗いとき

電源を「オン」にした直後。
又は、停電から復帰直後。

電源を「オン」にした時は、
約30秒間100%点灯します。

1. 検知範囲を調整する。
(→初めて使う時をご参照ください。)

2. 熱源を取り除く。
検知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を検知し、センサーが動作することがあります。

検知範囲に人がいるのに消灯する

暗いとき

「点灯時間」調整のツマミが「約5秒」側になっている。

「点灯時間」調整のツマミを「約3分」側に調整してください。
(→「動作設定方法」をご参照ください。)

検知範囲内で人が静止している。

静止している人は検知できません。

検知範囲が狭い

暗いとき

雨の日に傘などで顔や手が隠れている。

センサーは温度変化を検知するため、
左記の場合は検知しにくくなることがあります。

マフラーで顔を覆ったり手袋をしていて肌の露出部分が少ない。

夏の暑い日などで周囲温度と人の温度差が少ない。

クリーニング方法

●乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。

●クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。



直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。



取扱説明書

CPM B 保存用

人感センサー(ON/OFFタイプ)

お客様へ

●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

人感センサースイッチの特徴

センサー機能

センサーが人を検知すると、ランプが100%点灯します。
人がいなくなると設定された点灯時間(約5秒～約3分)経過後、消灯します。点灯保持時間が選べます。



強制ON(連続点灯)

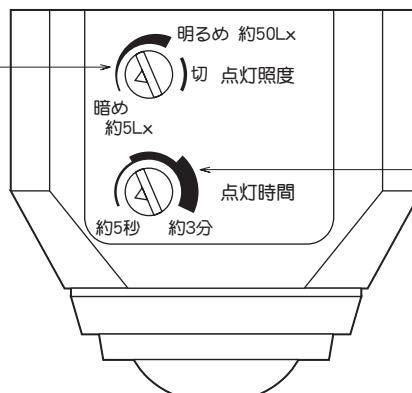
連続して点灯させたい時は壁スイッチをオフにして3秒以内にオンにすると、強制的にランプを100%点灯できます。
解除するときは一旦壁スイッチをオフにし、5秒以上経過後、再びオンにするとセンサー動作に戻ります。



センサー各部の名称

点灯照度調整ツマミ

点灯照度調整ツマミを動かすことでセンサーが動作する明るさを設定することができます。



点灯時間調整ツマミ
点灯時間調整ツマミを動かすことでランプの点灯時間を設定することができます。

注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアが調節できます。
必ず感知エリアを確認してください。
(P.2を参照してください。)

エリアマスク 貼り付け位置

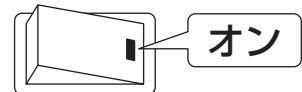
初めて使う時(検知範囲を確認する)

1. 点灯照度調整のツマミを「切」、点灯時間調整のツマミを「5秒」に合わせる。



※昼間・夜間に関係なくセンサーの検知範囲に人が入ればランプが約5秒間100%で点灯し、その後、消灯します。

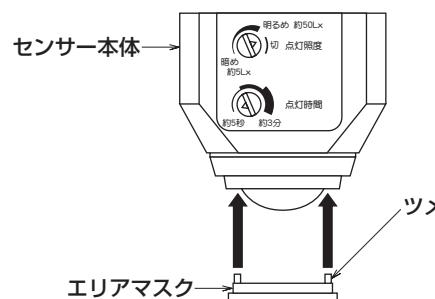
2. 壁スイッチを「オン」にする。



注) 壁スイッチを「オン」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯(強制点灯)しますが、異常ではありません。

強制点灯(約30秒)後、周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約5秒間ランプが点灯するので検知範囲を確認してください。

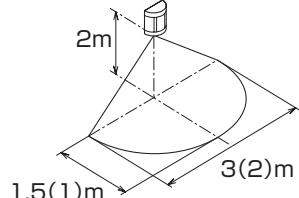
3. 検知範囲を決める。



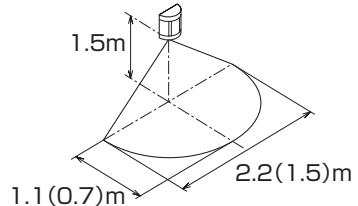
注) 検知エリアが広い場合はセンサー検知部に「エリアマスク」を取り付けて、検知エリアを調整してください。

〈センサーの検知範囲〉 () : エリアマスクを取り付けた時

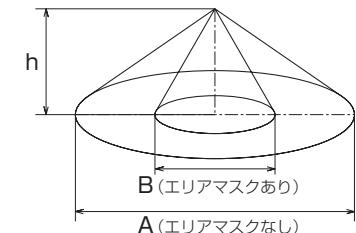
壁付タイプの場合: 高さ2m



壁付タイプの場合: 高さ1.5m



シーリングタイプの場合



A: エリアマスクなし
B: エリアマスクあり

単位(m)

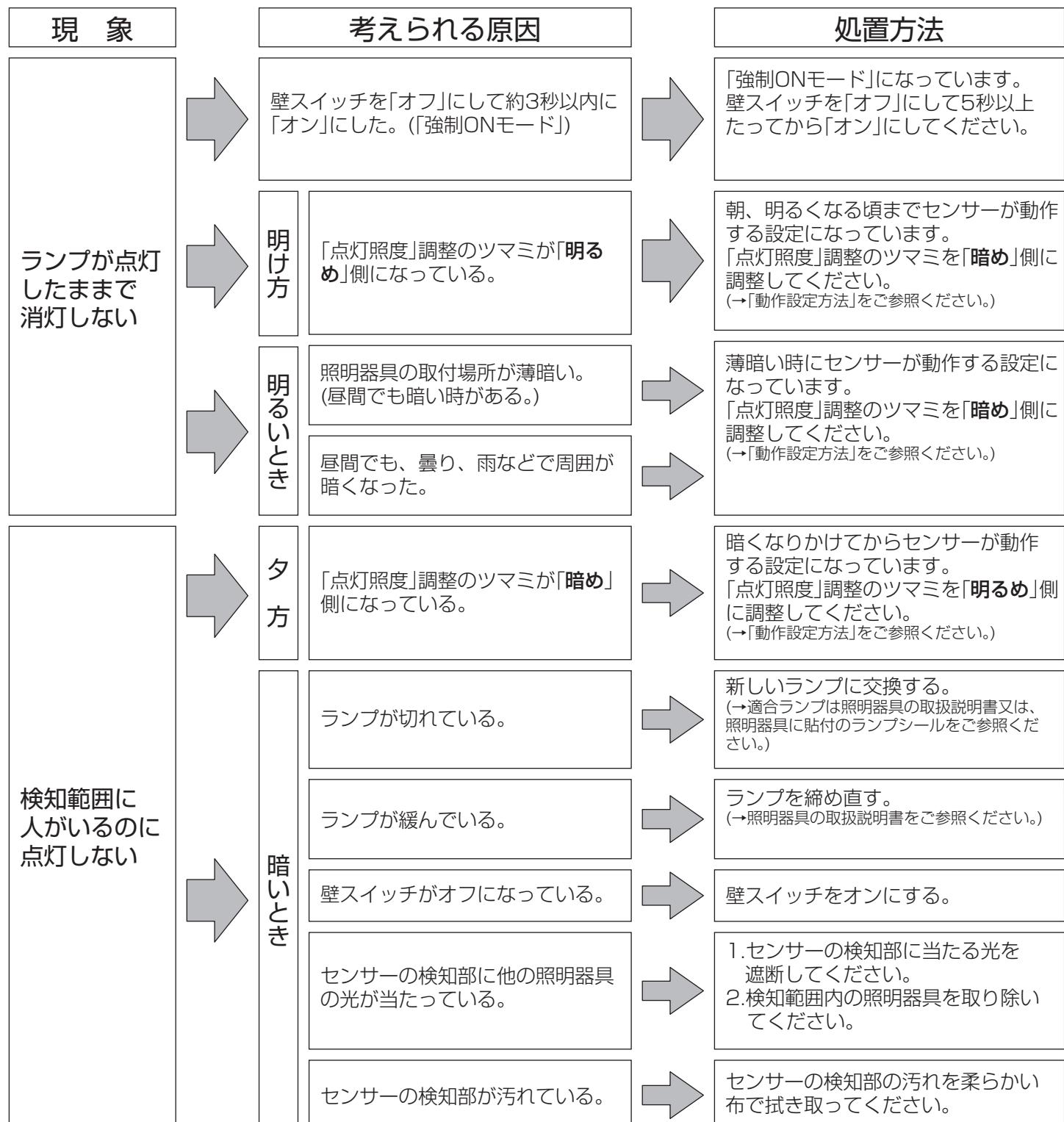
h	A	B
2	3	2
2.5	4	2.3
3	5	2.8

4. センサーが動作する明るさ、点灯する時間を決める。

動作設定方法をお読みください。(3ページ)

修理を依頼される前に

- センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。
- もし、正常に戻らない時は、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから、「オン」にしてください。
- 処置をした後でも異常があるときは必ず電源を「オフ」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。



こんな使い方ができます

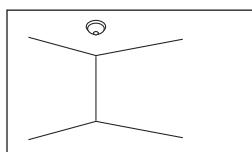
「点灯時間」調整のツマミを動かすことでランプの点灯時間(約5秒～約3分)を設定することができます。又、壁スイッチの操作で「強制ONモード」もできます。

この人感センサー付き照明器具は、「強制ONモード」を除き、**壁スイッチをONの状態でご使用ください。**

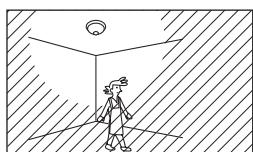
人が来たときだけ明るくしたい

→ 動作設定方法へ

昼間は消灯



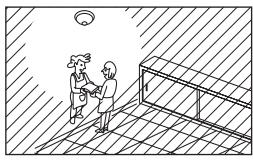
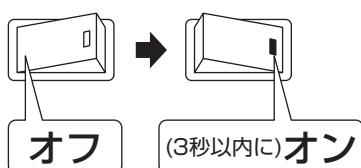
暗くなつて人が近づいた
ときだけ100%の明るさで点灯



好きな時に照明を点灯させたい

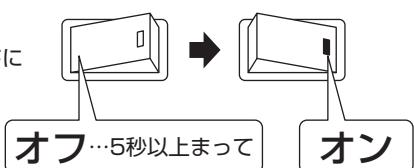
→ 強制ONモードの操作へ

壁スイッチの操作をすると100%の明るさで点灯



約8時間後にセンサーモードに戻る、又は消灯

センサーモードに
戻す時は



動作設定方法

1. 点灯照度調整ツマミを「暗め」～「明るめ」・「切」に合わせる。

明るさに関係なく点灯させたい。(約10000ルクス以下)
→「切」に合わせてください。



夕方のやや明るい時から点灯させたい。
また、明け方に消灯させたい。(約50ルクス以下)
→「明るめ」に合わせてください。

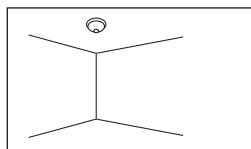
夜暗くなりかけてから点灯させたい。
また、明け方早くに消灯させたい。(約5ルクス以下)
→「暗め」に合わせてください。

2. 点灯時間調整ツマミを「約5秒」～「約3分」に合わせる。



<動作>

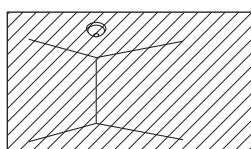
明るい時



消灯

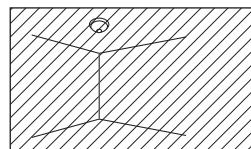


人がいなくなると

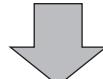


設定時間で消灯

暗くなつても



消灯のまま



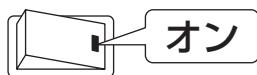
人が検知範囲に入ると



約100%の明るさで点灯

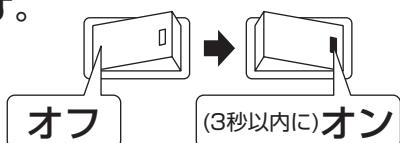
強制ONモードの操作

1. 壁スイッチが「オン」になっている。



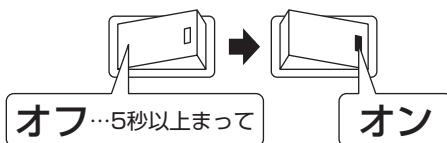
注) 壁スイッチが「オフ」の時は、「オン」にしてください。この時、約30秒間100%点灯します。(故障ではありません。)

2. 壁スイッチを「オフ」にして、約3秒以内に「オン」に戻す。



注) 強制ONモードは、人の有無、昼間・夜間に関係なく、ランプは約8時間100%点灯します。その後はセンサーモードに戻ります。

3. センサーモードに戻すときは、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にする。



注) 壁スイッチの「オフ」時間が5秒より短い場合は、強制ONモードが継続(100%点灯が8時間)されますので、必ず5秒以上「オフ」にしてから「オン」に戻してください。

〈強制ONモードの動作〉

